

## 日立の気象 92

### 10月 「秋の主役は 移動性高気圧」

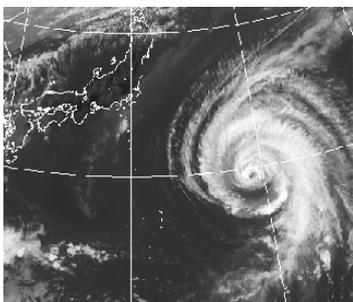
例年この時季になると台風の発生数も減り、太平洋高気圧の衰えとともに日本に接近する台風も9月の半分位になり、替わって移動性高気圧が主役の座に着き、「天高く馬肥ゆる秋」の季節となります。

しかし、秋の天気は変わりやすく「うるこ雲」や「いわし雲」が現れると、低気圧が近づいて天気が崩れるしるしです。



「うるこ雲」：巻積雲

今年の台風12号(名前：イオケ)は、ハリケーンから変わった台風として話題になりましたが、イオケは中部太平洋ハワイ諸島近海で誕生し、非常に強い勢力を保ったまま西に進み、8月27日に東経180度を越えて台風と呼ぶようになりました。過去にハリケーンから変わった台風は25個ありますが、はるばる6,000kmを旅して日本に影響を与えたものは、わずかに1個だけ、そのほとんどは日本の東海上で、北または東よりに向きを変え、日本から遠ざかりました。



【ハリケーンから変わった台風12号】

(9月4日：中心気圧950hpa)

さて今号では、この夏(6~8月)の天候の特徴についてお知らせします。

6月：梅雨入りは平年並みでしたが、上旬から中旬にかけて、寒気を伴った上層の低気圧が本州付近を通過することが多く、一時的に強い雨の降る日がありました。このため、市役所における6月の降水量は265.5mmと、平年の1.5倍になりました。

7月：本州付近に梅雨前線が停滞し、西から湿った空気が入りやすい気圧配置が続いたため、曇りや雨の日が多くなりました(梅雨明けも7月30日)。このため、月日照時間は72.7時間と、平年の53%しかありませんでした。一方、月降水量は345mmと平年の2.5倍で、昨年引き続き雨の多い7月になりました(7月の降水量としては、日立市役所観測記録順位第1位)。

8月：太平洋高気圧に覆われることが多く、月平均気温は25.5℃と平年より0.7℃高く、日照時間もほぼ平年並みでした。降水量は、上旬に台風7号が関東南岸を通過した時に35mmを記録しましたが、月合計でも54mmと平年の36%と雨の少ない8月となりました。

#### 日立の気候表

【平年値(1971~2000年)】

	9月	10月	11月
平均気温	21.6℃	16.6℃	11.8℃
降水量	197.9mm	159.2mm	81.2mm
日照時間	129.9時間	152.5時間	161.9時間

※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。

<http://www.jsdi.or.jp/~htenso>

また、ケーブルテレビの行政放送(5チャンネル)で天気予報(毎日2回)や悪天候が予想されるときには臨時の気象情報を発表しています。

電話での問合せは、直通電話 22-5520  
IP電話 050-5528-5066 へどうぞ。